保証書

コーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

型　名	EC-KV50	修理メモ
※お客様	お名前　　電話番号	
	ご住所　〒	
※お買い上げ日 年　月　日	※販売店名・住所・電話番号	
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
   (ヘ) 本書のご提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   (チ) 消耗品などの交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　　電話 (06)6356-2451

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　フリーダイヤル　携帯OK　**0120-345135**

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ……TEL (06)6356-2451(有料)

●FAXでのお問い合わせ……FAX (06)6356-6143(有料)
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

ホームページのご案内

象印マホービン　お客様サポート
https://www.zojirushi.co.jp/toiawase/

愛情点検　長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる ●焦げくさいにおいがする ●製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある ●その他の異常や故障がある	こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

EC-KV 型　ⓒⒷ

家庭用

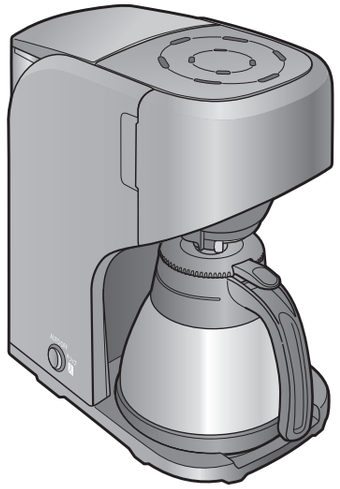
ZOJIRUSHI

コーヒーメーカー

珈琲通®

型名EC-KV50 型

取扱説明書　保証書つき



●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

「ZOJIRUSHIオーナーサービス」で製品登録をお願いいたします。

ZOJIRUSHIオーナーサービスではご登録いただいたお客様に消耗部品の特別価格販売など様々な特典をご用意しています。

【ZOJIRUSHIオーナーサービスWEBサイト】
https://www.zojirushi-support.jp/

●「ZOJIRUSHIオーナーサービス」の登録についてはパソコン・スマートフォン・タブレットといった機器が必要です。

●本サービスは、日本国内に居住する個人のお客様に限り、日本国内でのみ利用可能です。

もくじ

お使いになる前に
安全上のご注意……2
仕様……5
お使いになる前に……5
各部のなまえ……6

使い方
使い方……8
各部のはずし方・つけ方……14

お手入れ
お手入れ……15
・クエン酸洗浄のしかた……17

困ったときに
故障かなと思ったとき……18
部品の交換・購入について……19
アフターサービス……19
保証書……裏表紙
お客様ご相談窓口……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告	死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

⃠	してはいけない「禁止」内容です。	❗	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

本体を水に浸けたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

コードや差込みプラグを液体に浸けたり、液体をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

感電・けがの恐れがあります。

接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない

やけどの恐れがあります。
特に乳幼児には触らせないようご注意ください。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの恐れがあります。

ステンレスサーバーやカップなどを載せていない状態で使用しない

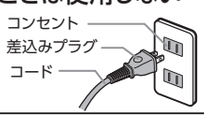
やけどの恐れがあります。

カップなどに直接ドリップするときは、使用するカップ1杯分を超える水を水タンクに入れない

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁 止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

差込みプラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の根元にほこりが付着している場合は、よくふく 火災の原因になります。

バスケットレバーを正しい位置に合わせる

やけどの恐れがあります。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。

＜異常・故障例＞

- ●コードや差込みプラグが異常に熱くなる
- ●コードに深い傷や変形がある
- ●焦げくさいにおいがする
- ●製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ●スイッチを入れても動かない
- ●本体から水漏れする
- ●蒸気口以外の場所から水や蒸気が漏れる
- ●本体が変形したり、異常に熱くなる

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠注意

接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部（蒸気口・しずくもれ防止弁など）に触れない

やけど・けがの恐れがあります。

禁 止

熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因になります。

不安定な場所では使用しない

やけど・けがの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

火気の近くで使用しない

火災の原因になります。

本体・ステンレスサーバーを電子レンジで使用したり、直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない

発煙・発火・とっ手の変形・金属部から火花が飛び散る原因になります。

禁 止

ドリップ中にステンレスサーバーやカップなどをはずしたり、別のカップにかえない

やけどの恐れがあります。

ステンレスサーバーやカップなどを載せたまま本体を動かさない

やけど・けがの恐れがあります。

ドリップ中は水をつぎ足さない

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

水タンクに水を入れて取りつけたあとは、本体からはずしたり、動かしたりしない

やけど・水漏れ・故障の原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施

お手入れは冷めてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない

コーヒーが飛び散る恐れがあります。

■屋外で使用しない

故障の原因になります。

■水にぬれた場所で使用しない

感電の恐れがあります。

■テーブルからはみ出した状態で使用しない

けが・やけどの恐れがあります。

■空だきはしない

水タンクに水を入れずに通電すると、故障の原因になります。

■細挽き粉を使用しない

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

■計量スプーンのすりきり5杯（約35g）を超えるコーヒー粉を入れない

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

■使用中にスイングバスケットを開けない

やけどの恐れがあります。

■使用中や使用後しばらくはスイングバスケットの下に手を入れない

湯が垂れて、やけどの恐れがあります。

■ドリップ直後にペーパーフィルターを直接触らない

やけどの恐れがあります。

安全上のご注意　つづき

お願い

■続けて運転する場合は、スイッチランプが消灯した状態で5分以上待つ

本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると、浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

■使い終わったら、必ず差込みプラグをコンセントから抜く

長時間通電を繰り返しされると故障の原因となり、異常加熱や発煙する場合があります。

■水タンクに水以外のものを入れない

牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。

■水タンクに水を入れたまま放置しない

故障・変色・におい・腐敗の原因になります。

■水タンクを本体からはずすときは、本体を押さえる

本体が持ち上がり、落下することがあります。

■ステンレスサーバーは、落としたり、固いものにぶつけたりしない

樹脂部分が破損したり、ステンレスサーバー表面がへこみ、保温性能が低下することがあります。

■ステンレスサーバーを倒したり、レバーを押したまま持ち運びしない

内容物が漏れて、やけどの恐れがあります。

■専用のステンレスサーバーやカップなど（指定のサイズ）以外は使用しない (→P.11)

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

■ステンレスサーバーを水に浸さない

すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

■ステンレスサーバー外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない

さびや穴あきなど故障の原因になります。

■ステンレスサーバーをドリップ以外の目的で使用しない。特に次のものは絶対に入れない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**

  ステンレスサーバー内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、サーバーふたセットが破損して飛散することがあり危険です。

- **みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を含んだもの**

  ステンレスサーバー内側は18-8ステンレスを使用していますが、さびたり、保温力が低下する原因になります。

- **牛乳・乳飲料・果汁など**

  成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、ステンレスサーバー内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、サーバーふたセットが破損し飛散することがあり危険です。

- **果肉・お茶の葉**

  詰まる・漏れるなど故障の原因になります。

仕様

型　　名	EC-KV50
電　　源	交流100V　50/60Hz
消 費 電 力	650W
容　　量	最大使用水量　675mL
方　　式	ドリップ式
コードの長さ	1.3m（ゴムコード）
外形寸法（約㎝）	幅24×奥行16.5×高さ31.5
質　　量	約2.4kg

●外形寸法はステンレスサーバーのとっ手を除いた寸法です。

●特定地域(高い山･厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿使用于其它地区。
另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。
另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

お使いになる前に

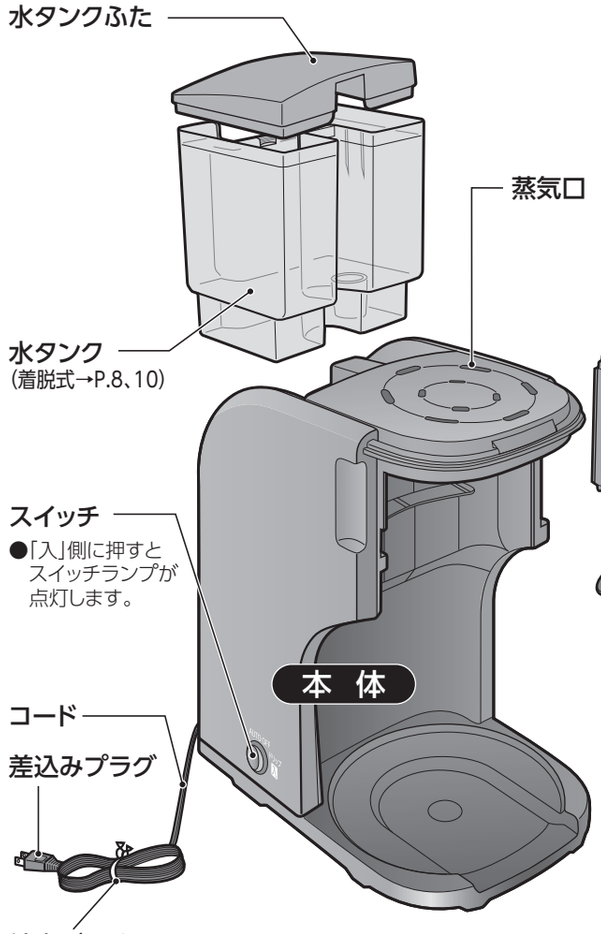
●この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。

●この製品はコーヒーを作るためのものです。**コーヒーを作ること以外には使用しないでください。**
水以外のもの（牛乳・酒・コーヒー・湯など）を水タンクに入れると故障の原因になります。

●使いはじめはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
また、黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

●初めてお使いになるとき **●長期間お使いにならなかったとき**	浄水フィルター・ステンレスサーバー・フィルターケースなどを洗い、水だけで1～2回ドリップして本体内部を洗浄してください。

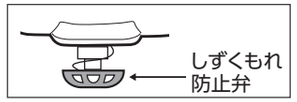
各部のなまえ



●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。
(コードが熱くなり、故障の原因になります。)

フィルターケース(着脱式→P.14)

しずくもれ防止機構について



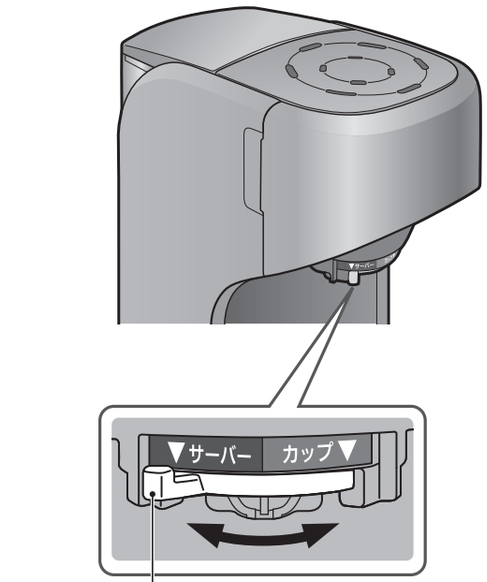
ステンレスサーバーを本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがフィルターケースから漏れないようにするしくみです。

(ただし、バスケットレバーが カップ▼ の位置の場合、しずくもれ防止機構は働きません。)

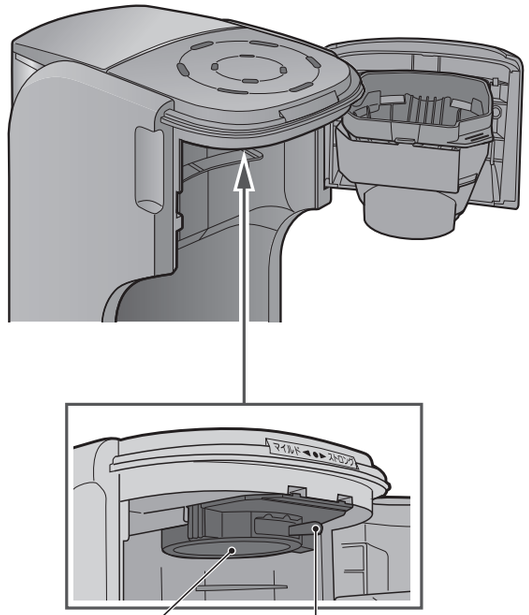
スイングバスケット(着脱式→P.14)

浄水フィルター(消耗品)
(繊維状の活性炭入り、着脱式→P.14)

浄水フィルターに沸とうした湯を通し、カルキ臭を減らします。
●水質などにより、浄水フィルターが変色(茶色)することがありますが、使用上差しつかえありません。

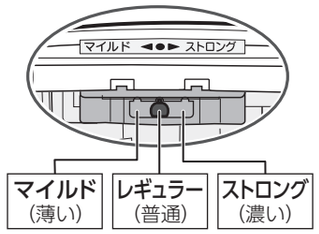


バスケットレバー
● ステンレスサーバー使用時 と カップ使用時 で切りかえます。
(→P.10、13)



湯出口

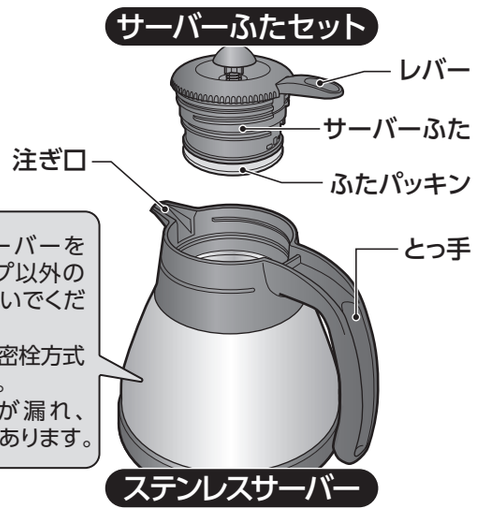
濃度調節レバー
●3段階の濃度調節ができます。



point

バスケットレバーを切りかえることで、1杯分ならカップ(コーヒーカップ・マグカップ・ステンレスマグなど)に直接ドリップできます。

●指定のサイズを使用してください。
(→P.11)
●カップの容量に合わせて自動的にドリップをとめる機能はありません。

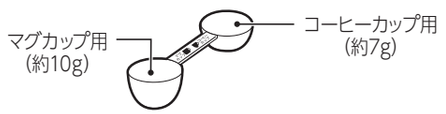


●ステンレスサーバーをコーヒードリップ以外の目的で使用しないでください。
●サーバーふたは密栓方式ではありません。転倒すると湯が漏れ、やけどの恐れがあります。

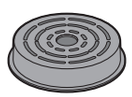
付属品

●計量スプーン

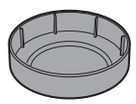
コーヒー粉すりきり 1 杯約 7g



●トレー

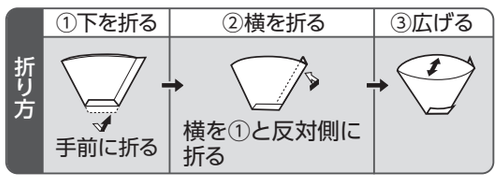


●受皿



●ペーパーフィルター(2枚)

ペーパーフィルターがなくなったときは、市販の1×2(2～4杯用)、または102(2～4人用)をお求めください。



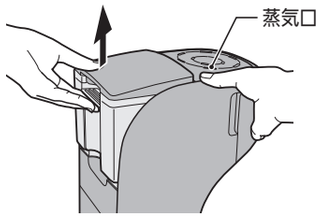
●ペーパーフィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。
●ペーパーフィルターがフィルターケースからはみ出さないように折り幅を調節してください。

使い方

1 水タンクに水を入れる

①水タンクを本体からはずす

●本体を押さえながらはずしてください。
本体が持ち上がり、落下することがあります。
(蒸気口には手を触れないでください。)



故障や水漏れ、コーヒーがあふれる原因になるため、以下のことをお守りください。

●水タンクに湯を入れないでください。
●水タンクを本体に取りつけた状態で水を入れないでください。水が製品内部に流れ込むため水量が多くなります。
●ドリップ中は水をつぎ足さないでください。

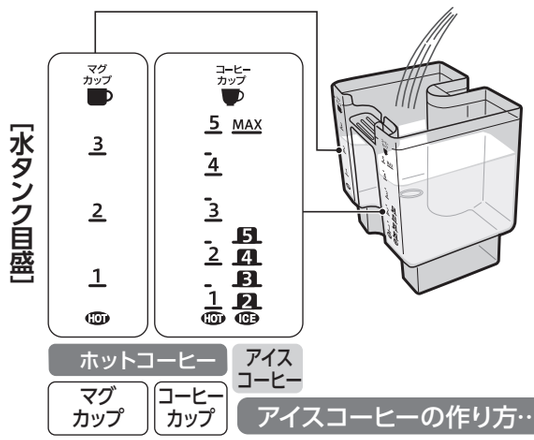
ミネラルウォーター使用時のお願い

●**硬度200以上のものは使用しないでください。**
製品内部の水管にミネラル分が付着して、ドリップ時間が長くなったり、最後までドリップできなくなることがあります。
●**できるだけ硬度100以下のものを使用してください。**
●**使用中にドリップ時間が長くなったときは、クエン酸洗浄を行ってください。**(→P.17)

ステンレスサーバー使用時

②作るコーヒーの量の水タンク目盛まで水を入れ、水タンクふたを取りつける

●水タンク目盛の「HOTコーヒーカップ 5」を超える水を入れないでください。
(ステンレスサーバーからコーヒーがあふれる恐れ)

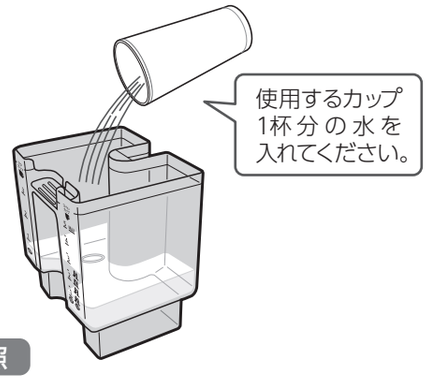


アイスコーヒーの作り方……→P.13 参照

カップ使用時 (カップに直接ドリップするとき)

②使用するカップで水を計量し、1杯分の水を水タンクに入れ、水タンクふたを取りつける

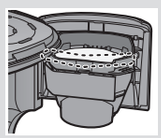
●**使用するカップ1杯分を超える水を水タンクに入れないでください。**
(コーヒーがあふれてやけどの恐れ)
●**使用するカップ2杯分以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。**
●指定のサイズのカップを使用してください。(→P.11)



2 コーヒー粉を入れ、濃度を設定する

①スイングバスケットを開き、フィルターケースにペーパーフィルターを取りつける

●ペーパーフィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。
●ペーパーフィルターを、正しく取りつけないとコーヒー粉がペーパーフィルターからあふれる恐れがあります。
●フィルターケースからペーパーフィルターがはみ出さないように折り方を調節してください。



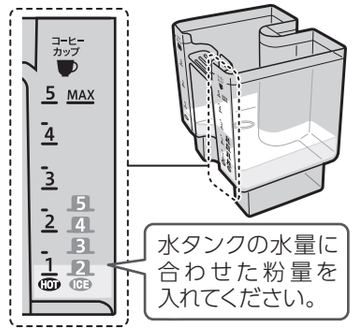
②コーヒー粉を付属の計量スプーンで上面が平らになるように入れる

●水タンクの水量 (水位線) に合わせた粉量を入れてください。

■コーヒー粉標準使用量

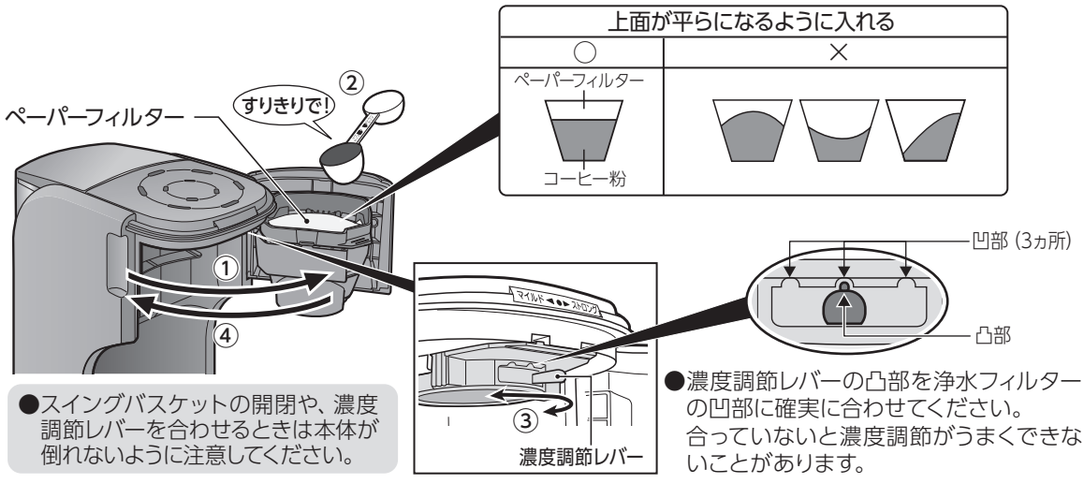
		カップ数	コーヒー粉量
ホットコーヒー	コーヒーカップ	5カップ	5杯 (約35g)
		4カップ	4杯 (約28g)
		3カップ	3杯 (約21g)
		2カップ	2杯 (約14g)
		1カップ	1杯 (約7g)
	マグカップ	3カップ	3杯 (約30g)
		2カップ	2杯 (約20g)
		1カップ	1杯 (約10g)
アイスコーヒー		5カップ	5杯 (約35g)
		4カップ	4杯 (約28g)
		3カップ	3杯 (約21g)
		2カップ	2杯 (約14g)
		1カップ	作ることができません

●できあがり量の目安
コーヒーカップ1杯 約120mL、
マグカップ1杯 約180mL、
アイスコーヒー1杯 約60mL
●計量スプーン
コーヒー粉 すりきり1杯
約7g (コーヒーカップ用)
●できあがりの量が少ないときにコーヒーが薄くなることがあるため、コーヒー粉はお好みにより加減してください。
●入れるコーヒー粉の量・種類・粗さによりできあがりのコーヒーの量がかわることがあります。



●細挽き粉は使わないでください。また、粉の種類によっては、ドリップ時にコーヒー粉がペーパーフィルターからあふれる場合があります。
(デカフェ、カフェインレス、浅煎りなどの粉はあふれやすいものがあります。)
その場合は、作るコーヒーの量 (杯数) を減らしてください。
●計量スプーンのすりきり5杯 (約35g) を超える量を入れないでください。(コーヒーがあふれて、やけどの恐れ)
●1カップ (120mL) 未満のコーヒーを作ることはできません。
●2杯以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。
●アイスコーヒーを作るときは、ステンレスサーバーを使用してください。
●スイングバスケットを正しく閉めないとあふれる原因になります。

③濃度調節レバーで濃度を設定する
④スイングバスケットを閉じる



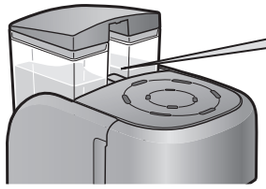
●スイングバスケットの開閉や、濃度調節レバーを合わせるときは本体が倒れないように注意してください。

●濃度調節レバーの凸部を浄水フィルターの凹部に確実に合わせてください。
合っていないと濃度調節がうまくできないことがあります。

使い方　つづき

3 水タンクを本体に取りつける

水タンクを本体に沿って根元までしっかりと差し込む



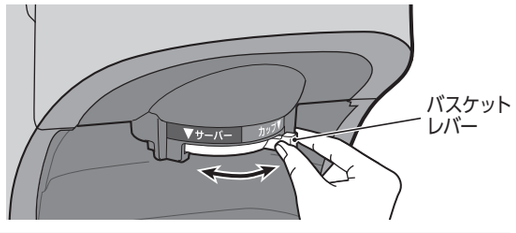
本体に沿ってまっすぐ差し込む　　根元まで確実に差し込む

●水タンクを根元まで差し込まないと故障の原因になります。
また、ドリップ中に湯が出ないことや、水タンクに水が残った状態でドリップが完了することがあります。

4 バスケットレバーを切りかえる

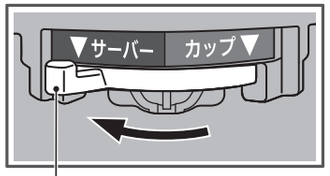
バスケットレバーを▽の位置へ動かす

●バスケットレバーを正しい▽の位置へ確実に動かしてください。
（コーヒーやコーヒー粉があふれてやけどの恐れ）



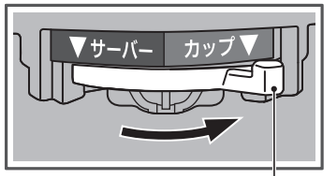
ステンレスサーバー使用時

バスケットレバーを ▼サーバー の位置へ確実に動かしてください。



カップ使用時（カップに直接ドリップするとき）

バスケットレバーを カップ▼ の位置へ確実に動かしてください。



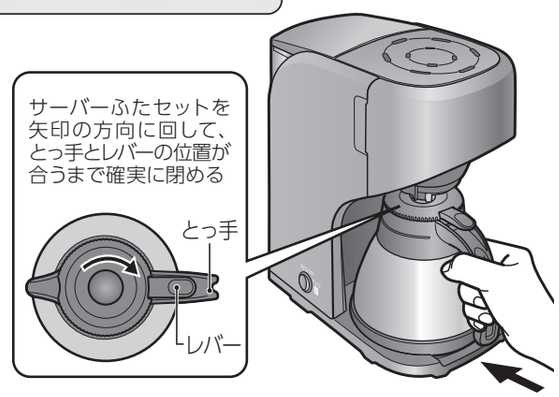
5 ステンレスサーバーまたはカップを載せる

熱いコーヒーがお好みの方は…
あらかじめステンレスサーバーまたはカップを熱湯で温めてからご使用ください。

ステンレスサーバー使用時

ステンレスサーバーの中が空であることを確認してからサーバーふたセットを閉め、本体に取りつける

●ステンレスサーバーの中に湯やコーヒーが入っている状態でドリップを開始すると、ステンレスサーバーからコーヒーがあふれる恐れがあります。
●ステンレスサーバーを取りつけるときは、しずくもれ防止弁に無理な力を加えないでください。



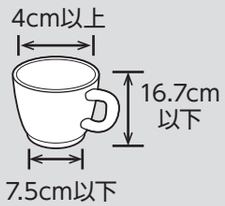
カップ使用時（カップに直接ドリップするとき）

使用するカップのサイズに合わせてトレーで調整してください。
（トレーを使用しない／トレーをオモテ向きで使用／トレーをウラ向きで使用）

お願い　使用するカップ2杯分以上のコーヒーを作るときはステンレスサーバーを使用してください。

●トレーのみを本体に取りつけないでください。トレーを使用する場合は、必ず受皿にトレーを載せてください。
●受皿のオモテ／ウラを逆にして取りつけないでください。
●ドリップ中は別のカップにかえないでください。
●高さが低いカップを使用した場合、コーヒーが飛び散ることがあります。

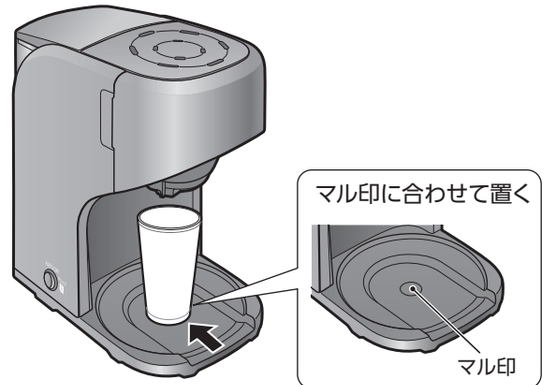
●以下のサイズのカップが使用できます。
- 口径4cm以上
- 底部の外径が7.5cm以下
- 高さが16.7cm以下
- 容量が120mL以上



トレーを設置しない場合

カップの高さが 14cm 以上 16.7cm 以下

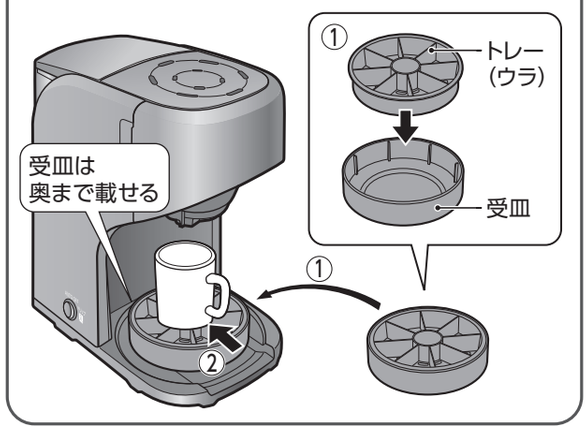
本体の中央にカップを載せる



トレー<ウラ>を設置する場合

カップの高さが 12cm 以上 14cm 未満

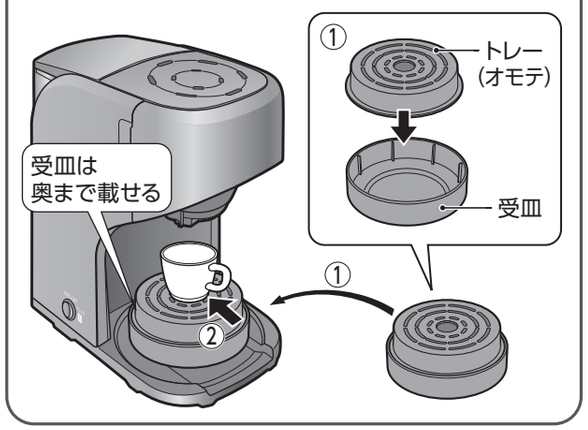
①受皿にトレーをウラ向きで載せ、本体に取りつける
②トレーの中央にカップを載せる



トレー<オモテ>を設置する場合

カップの高さが 12cm 未満

①受皿にトレーをオモテ向きで載せ、本体に取りつける
②トレーの中央にカップを載せる



使い方　つづき

差込みプラグをコンセントに差し込み、

6 スイッチを入れる

スイッチランプが点灯し、ドリップを開始する

●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。（感電の恐れ）

できあがり時間の目安　（水温20℃、室温20℃の場合）

カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ
コーヒーカップ	2.5分	3.5分	5分	6分	7.5分
マグカップ	3分	5分	7分	—	—

●できあがり時間は、水量・室温・粉の量などでかわります。

◆途中でやめるときは…

①差込みプラグをコンセントから抜く
②フィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなったことを確認し、バスケットレバーを ▼サーバー の位置に動かす（カップ使用時）
③本体が冷めてから、ステンレスサーバー（またはカップ）とフィルターケースを取り出し、水タンクに残っている水を捨てる
●水タンクをはずしたときに水タンクから水が垂れることがあります。

スイッチランプが消灯すると

7 ドリップが完了

ドリップが完了すると自動的に電源が切れる（スイッチランプが消灯）

●電源が切れたあと、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

●スイッチランプ消灯直後は、フィルターケース内にコーヒーが残っています。
フィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなるまでステンレスサーバーやカップを取り出さないでください。

ステンレスサーバー使用時

ステンレスサーバーを取り出し、サーバーふたのレバーを押しながらカップに注ぐ

●ステンレスサーバーを傾けたときに、注ぎ口やサーバーふたの穴から少量のコーヒーが漏れることがあります。

●次の場合はコーヒーが漏れることがありますのでご注意ください。
- 注ぐときに必要以上に傾ける
- 持ち運ぶときに傾けたり、横抱きする
- 転倒させる

お願い
- コーヒーを注いだあとは、レバーを押したままステンレスサーバーを水平に戻し、レバーから指を離してください。
- 使用後は差込みプラグを抜いてください。

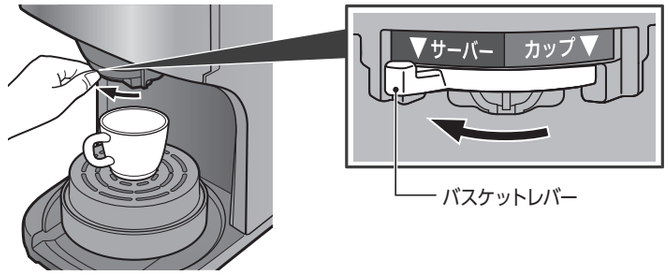
◆ステンレスサーバーでコーヒーを保温するときは…

●サーバーふたセットを確実に閉めてください。
●ステンレスサーバーはまほうびん構造により保温できますが、コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
●少量のときや室温が低いときは、ステンレスサーバーにコーヒーの熱が取られ、コーヒーの温度が低くなります。
●長時間保温すると香りがぬけて風味が悪くなりますので、早めにお召し上がりください。

カップ使用時（カップに直接ドリップするとき）

バスケットレバーを ▼サーバー の位置へ動かしたあと、カップを取り出す

●蒸気口やしずく漏れ防止弁などに触らないでください。（やけどの恐れ）
●バスケットレバーが カップ▼ の位置のままカップを取り出すと、コーヒーが垂れることがあります。



◆連続してコーヒーを作るときは…

●スイッチランプが消灯した状態で、**本体を5分以上冷ましてから**「使い方1」より行ってください。（→P.8）
●本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。

アイスコーヒーの作り方

アイスコーヒーを作るときは、ステンレスサーバーを使用してください。

準備するもの

◆アイスコーヒー用粉
◆氷

作り方

①「使い方1〜6」と同じ手順でコーヒーを作ります。（→P.8）

●ステンレスサーバーは予熱しないでください。
●計量スプーンは「コーヒーカップ用」を使用します。
●水量は水タンクの ICE の目盛に合わせます。

②サーバーふたセットをはずし、ステンレスサーバーに氷を入れてかき混ぜながら冷やします。
③サーバーふたセットを閉めて、レバーを押しながらグラスに注ぎます。

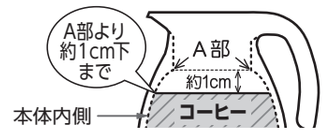
■ 氷の量の目安

カップ数		2カップ	3カップ	4カップ	5カップ
氷の量	個数の目安※(個)	8	12	16	20
	重さ(約g)	120	180	240	300

※角氷（2.5cm角）の場合。入れる氷の個数は氷の大きさによりかわります。お好みにより調整してください。

ご注意

●ステンレスサーバーにあらかじめ氷を入れてコーヒーを作らないでください。
（コーヒーがあふれ、やけどの恐れ）
●アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。
●氷を入れたあとのコーヒーの液面は、下図の位置までにしてください。氷を入れすぎると、コーヒーがあふれることがあります。

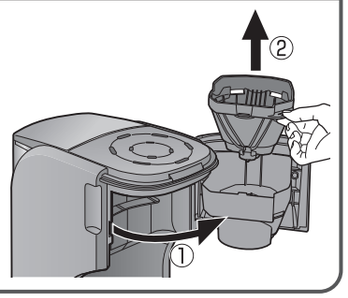


各部のはずし方・つけ方

フィルターケース

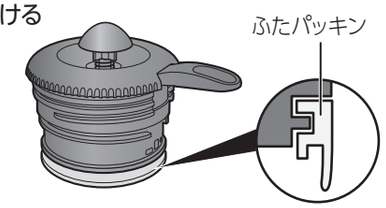
はずし方

①スイングバスケットを開ける
②フィルターケースを取りはずす



ふたパッキン

お手入れなどではずしたふたパッキンは、ねじれなどに注意して、図のように取りつける

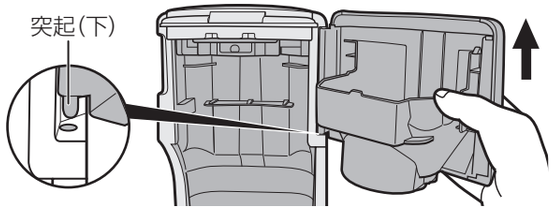


スイングバスケット

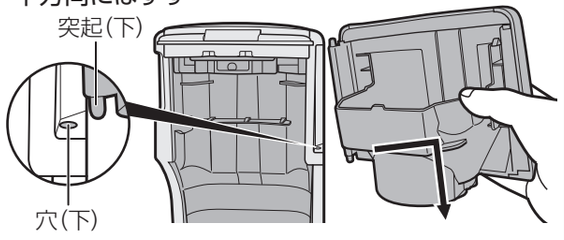
●ステンレスサーバー、フィルターケースを取りはずしてから行ってください。

はずし方

①スイングバスケットを全開にし、持ち上げて突起(下)を浮かせる

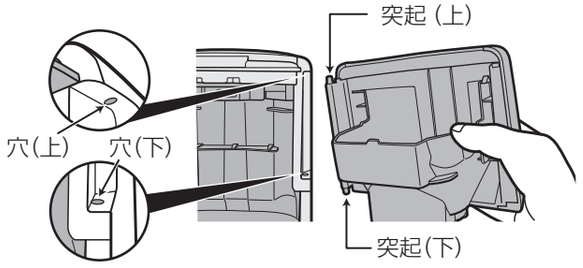


②スイングバスケットを矢印の方向にずらして下方向にはずす



つけ方

突起(上)を本体の穴(上)に差し込んでから、突起(下)を穴(下)に合わせてはめ込む

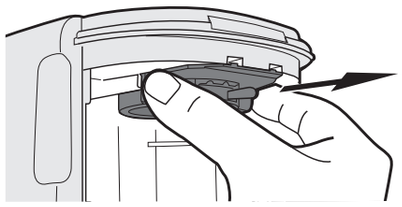


浄水フィルター

はずし方

浄水フィルターを図のように持ち、前に引き抜く

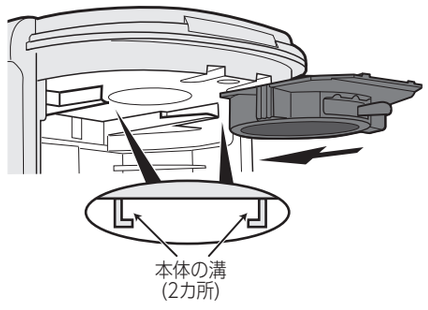
●本体が十分に冷めてからはずしてください。(やけどの恐れ)
●本体が倒れないように注意してください。
●浄水フィルターから水が出る場合があるので注意してください。



つけ方

浄水フィルターを本体の溝に沿わせて差し込む

●奥まで確実に差し込んでください。(水漏れや濃度調節がうまくできない原因になります。)



お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからお手入れしてください。

●ご使用ごとに必ずお手入れしてください。
●本体・コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。(感電・故障の原因)
●食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使用しないでください。(部品変形の原因)
●熱湯は使用しないでください。(変形や割れの原因)
●次のものは使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・シンナー・ベンジン・漂白剤など (変色・割れ・劣化・腐食の原因)
- みがき粉・ナイロンたわし・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など (表面が傷つく原因)

●サーバーふた以外の部分にブラシを使用しないでください。(表面を傷つける原因)
●化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
●長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。

本　体

①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る
②水を絞った柔らかい布でよくふく
③乾いた柔らかい布で水分をふき取る

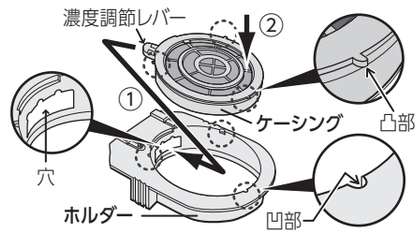
水タンク・水タンクふた・スイングバスケット

①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
②水洗いする
③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る
●スイングバスケットは、十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。

浄水フィルター

水で流し洗いし、よく乾燥させる

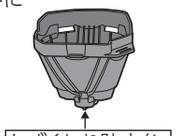
●浄水フィルターは分解しないでください。
部品がはずれたときは、下記の通りに正しく取りつけてください。
①濃度調節レバーをホルダーの穴に差し込む
②ホルダーの凹部(3カ所)とケーシングの凸部(3カ所)の位置を合わせて取りつける



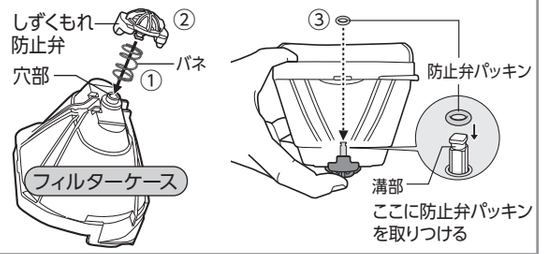
●浄水フィルターは消耗品です。目詰まりしている場合は、交換 (有料) してください。交換時期の目安は、水質や使い方により異なりますが約2年です。(1日1回使用した場合)
●洗剤は使わないでください。

フィルターケース

①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
②水洗いする
③フィルターケースの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2〜3回動かし、汚れを洗い流す
④乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る
●しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーが漏れることがありますので、毎回洗ってください。
●十分に水切りをしてください。ドリップ中に水滴が垂れることがあります。
●しずくもれ防止弁は引っ張るとはずれることがありますので注意してください。
●フィルターケースを水に浸さないでください。すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。



●しずくもれ防止弁は分解しないでください。
部品がはずれたときは下記の通りに正しく取りつけてください。
①フィルターケースにバネを載せる
②しずくもれ防止弁をバネ、フィルターケース穴部に通して入れる
③しずくもれ防止弁を押さえた状態で溝部に防止弁パッキンを取りつける



防止弁パッキンが確実に取りつけられていることを確認してください。歪んだり、はまっていないと水漏れの原因になります。

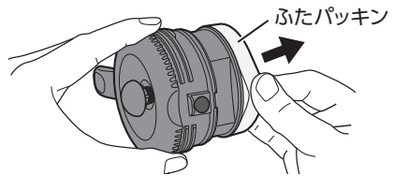
○	正しく取りつけた状態		
×	すき間などから水漏れします。		歪んでいる
			はまっていない

コード・差込みプラグ　乾いた柔らかい布でふく

お手入れ つづき

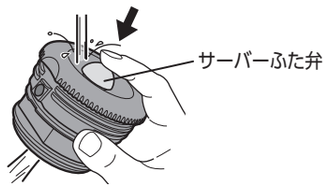
サーバーふたセット

①ふたパッキンを取りはずす
②薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので、サーバーふた・ふたパッキンを洗う
③水洗いする
●サーバーふたのコーヒー通路部は、詰まり防止のため毎回水で流し洗いしてください。

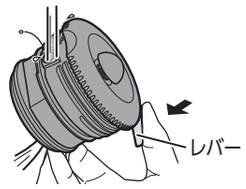


サーバーふたのコーヒー通路部は、サーバーふた弁・レバーを押しながら、図のように流し洗いする

サーバーふた弁を押しながら



レバーを押しながら



④サーバーふた弁・レバーを押しながらサーバーふたを数回振る
●押しながら振らないと内部に残った水滴が垂れることがあります。
⑤水分をよくふき乾燥させる
⑥ふたパッキンを元通り取りつける (→P.14)

●損傷していたり、パッキンが白く変色してきた場合は、交換 (有料) してください。 (→P.19)

サーバーふた弁がスムーズに動かないときや、コーヒー通路部にコーヒー粉がたまっているとき、または約1ヶ月ご使用ごとに、サーバーふた弁をはずして洗ってください。

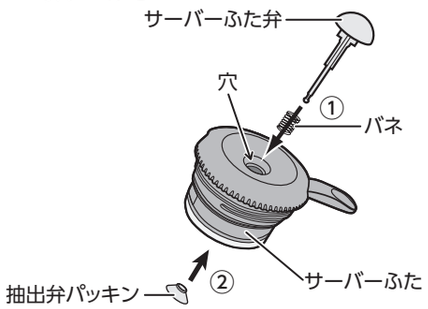
●洗いにくい部分は、市販の小型ブラシなどで洗ってください。
●はずした部品は、下記の通り正しく取りつけてください。

サーバーふた弁のはずし方

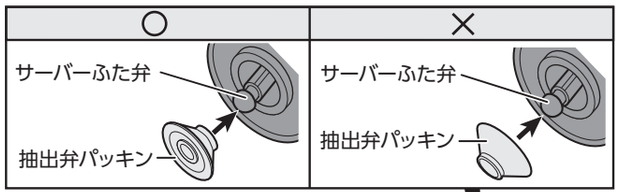
サーバーふた弁を押しながら抽出弁パッキンをはずす
(抽出弁パッキン・サーバーふた弁・バネがはずれます。)

サーバーふた弁のつけ方

①サーバーふた弁にバネを通したあと、サーバーふたの穴に入れる
②サーバーふた弁に抽出弁パッキンを取りつける



●抽出弁パッキンは、図の向きに正しく取りつけてください。



●抽出弁パッキンは、サーバーふた弁の先端がきっちりと出るように取りつけてください。

ステンレスサーバー

ステンレスサーバー(外側)

①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う
②水洗い後、数回振る
③乾いた柔らかい布で水分をよくふき取る

●ステンレスサーバーを水に浸さないでください。
すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

ステンレスサーバー(内側)

①薄めた台所用中性洗剤を含ませた柄のついたスポンジブラシなどで、きれいに内面を洗う
②水洗いし、乾燥させる

●常にお手入れをしていただきますと、においを防ぎ清潔に使用していただけます。

汚れのこびりつきがひどいとき

ステンレスサーバー内側にこびりついたコーヒーの汚れには、「象印ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル 」をご使用ください。(別売品→P.19)

●ピカボトルはステンレスサーバー以外には使用しないでください。
●お手入れのときは、サーバーふたセットをステンレスサーバーからはずしてください。

湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が本体内部の水管などに付着します。
ミネラル分が付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーのドリップ量が少なくなったり、本体のすき間から湯が漏れることがあります。

●ミネラル分はクエン酸洗浄で取り除いてください。(下記「クエン酸洗浄のしかた」参照)
●クエン酸洗浄は約3ヵ月に1回が目安です。
水質によって異なり、ミネラル分の多い地域やミネラルウォーターなどをご使用の場合は、ミネラル分がつきやすくなります。

クエン酸洗浄のしかた

●洗浄の前に必ず浄水フィルターをはずしてください。
浄水フィルターをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。また、目詰まりにより、クエン酸溶液が漏れ出す原因になります。

●浄水フィルターを取りつけたままクエン酸洗浄をしたときは、水で洗い流してください。(クエン酸のにおいをとるため)

●泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のパイプ洗浄用クエン酸(コーヒーメーカークリーナー)をお使いください。(別売品)
→ P.19
クエン酸(100%)は食品添加物として使用されており、食品衛生上無害ですが食べないでください。

●湯の出が悪い場合は再度クエン酸洗浄をしてください。

①コップに小さじ1.5杯(約6g)のクエン酸を入れて、ぬるま湯で溶かし、水といっしょに水タンク目盛の「コーヒーカップ 5」まで入れる
②水タンク内の溶液をよくかき混ぜる
③水タンク・フィルターケース・スイングバスケット・ステンレスサーバー (サーバーふたセットが取りつけられた状態) を本体に取りつける (ペーパーフィルターは取りつけないでください)
④スイッチを入れる (ドリップする)
⑤クエン酸溶液が水タンク目盛の「コーヒーカップ 1」まで減ったときに差込みプラグをコンセントから抜く
⑥ドリップされたクエン酸溶液を別の容器に移して冷まし、溶液の中に混ざっている白い結晶などを除く
⑦⑥のクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、④～⑥を白い結晶などが出なくなるまで繰り返す
⑧本体が十分冷めてから、ステンレスサーバーと水タンク内をすすいだあと、クエン酸のにおいを取るために水だけで数回ドリップする
(連続してドリップするときは、スイッチランプが消灯した状態で、**5分以上**待つ)
⑨差込みプラグをコンセントから抜く

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、
次の点をお調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
スイッチを「入」にしても通電しない	差込みプラグがはずれていませんか?	差込みプラグをコンセントに差し込んでください。
湯が出ない 湯の出が悪く、ドリップのスピードが遅い	水タンクに水が入っていますか?	水タンクに水を入れてください。(→P.8)
	水タンクは正しく取りつけられていますか?	水タンクを正しく取りつけてください。(→P.10)
	本体内部の水管などにミネラル分が付着すると湯の出具合が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。(→P.17)	
コーヒーがぬるい (保温が効いていない)	長時間保温していませんか?	コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
	コーヒーの量が少ないときや室温が低いときは、コーヒーの温度が低くなります。	
	あらかじめステンレスサーバーまたはカップを熱湯で温めておくとコーヒーのできあがり温度が高くなり、保温に効果的です。	
カップ使用時 コーヒーが出ない 量が少ない	バスケットレバーが ▼サーバー の位置になっていませんか?	カップを本体に載せ、バスケットレバーを カップ▼ の位置に合わせてください。(バスケットレバーを切りかえると、コーヒーが勢いよく出るので注意してください。)
ドリップ時にサーバーふたセットからあふれる	サーバーふたセットにコーヒー粉が詰まっていませんか?	サーバーふたセットをお手入れしてください。(→P.16)
カップ使用時 カップからあふれる	使用するカップ1杯分を超える水を水タンクに入れていませんか?	水タンクには使用するカップ1杯分の水を入れてください。(→P.8)
コーヒーやコーヒー粉がフィルターからあふれる	ペーパーフィルターは正しく取りつけられていますか?	ペーパーフィルターを正しく取りつけてください。(→P.8)
	計量スプーン5杯(約35g)を超える量のコーヒー粉を入れていませんか?	計量スプーン5杯(約35g)以下で入れてください。(→P.9)
	しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まっていませんか?	フィルターケースをお手入れしてください。(→P.15)
	細挽き粉を使用していませんか?	細挽き粉を使用しないでください。
	スイングバスケットをしっかり閉じていますか?	スイングバスケットをしっかりと閉じてください。(→P.9)
	サーバーふたを正しく取りつけていますか?	サーバーふたを正しく取りつけてください。(→P.10)
	サーバーを正しく取りつけていますか?	サーバーを本体に正しく取りつけてください。(→P.10)
	ペーパーフィルターを2枚以上重ねて使用していませんか?	ペーパーフィルター1枚で使用してください。
	粉やペーパーフィルターの種類によっては、コーヒーがフィルターからあふれる場合があります。その場合は、作るコーヒーの量(杯数)を減らしてください。	
	カップ使用時 バスケットレバーが ▼サーバー の位置になっていませんか?	カップを本体に載せ、バスケットレバーを カップ▼ の位置に合わせてください。(バスケットレバーを切りかえると、コーヒーが勢いよく出るので注意してください。)

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
水タンクの中に水が残る	水タンクは正しく取りつけられていますか?	水タンクを正しく取りつけてください。(→P.10)
	本体内部の水管などにミネラル分が付着すると湯の出具合が悪くなり、水タンクの中に水が残ることがあります。クエン酸洗浄を行ってください。(→P.17)	
電源コードが熱くなる	ご使用中は、電源コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。	
お手入れするときは…	**差込みプラグをコンセントから抜き、本体を5分以上冷ましてからお手入れしてください。**	

部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は裏表紙参照)

	部品名	部品番号
消耗品	コーヒーメーカー用浄水フィルター	EC-F02-J
部品	コーヒーメーカー用ステンレスサーバー(サーバーふたセットつき)	SERECKV-RA
	コーヒーメーカー用サーバーふたセット	BG819816A-01
	コーヒーメーカー用計量スプーン	717250-01
別売品	パイプ洗浄用クエン酸(コーヒーメーカークリーナー)(6g×5包入り)	EC-ZA01-J
	ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、浄水フィルターは消耗品のため、保証期間内でも有料です。

3. 修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったとき」(P.18〜19)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

≪保証期間中≫

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。